

2008年3月期 第3四半期財務・業績の概況

2008年2月8日

上場会社名 株式会社ゼンショー 上場取引所 東証第一部
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 賢太郎 TEL (03) 5783-8850
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経理部長 (氏名) 松永 一徳

(百万円未満切捨て)

1. 2008年3月期第3四半期の連結業績 (2007年4月1日 ~ 2007年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2008年3月期第3四半期	206,738	+42.8	11,652	+28.0	11,687	+29.5	4,049	+9.4
2007年3月期第3四半期	144,771	+33.5	9,099	+16.4	9,024	+20.1	3,701	+98.7
(参考) 2007年3月期	204,591	+37.1	12,950	+18.8	13,196	+25.3	6,181	+97.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
2008年3月期第3四半期	34	47	—	—
2007年3月期第3四半期	32	38	—	—
(参考) 2007年3月期	53	71	—	—

(注) 2006年8月1日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2008年3月期第3四半期	217,146		44,976		15.4		284	67
2007年3月期第3四半期	160,699		40,094		18.9		258	12
(参考) 2007年3月期	201,267		43,608		16.2		277	97

(注) 2006年8月1日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

2. 2008年3月期の連結業績予想 (2007年4月1日 ~ 2008年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	289,000	+41.3	18,700	+44.4	17,500	+32.6	7,000	+13.2	59	58

3. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 無 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 無 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(業績全般の概況)

当第3四半期(2007年4月1日から2007年12月31日)におけるわが国経済は、前半は企業業績の改善等により、景気は底堅く推移いたしましたが、後半に入り、原油価格の高騰や米国サブプライムローン問題等によって、軟調な状況で推移してまいりました。

外食産業につきましては、1997年以降継続していた市場規模の縮小は鈍化し、M&Aや成長企業の台頭等による上位企業へのシェア集中が進む一方、米国BSEに象徴される食の安全問題や食品の偽装問題など、「食の安全」に対する企業の姿勢が問われる環境となってまいりました。

当社グループはこのような状況のもと、2007年8月に食品安全追求本部(2005年9月設立)の下に輸入食材安全保証室と食品安全情報室を新設し、食の安全に対する取り組みを強化してまいりました。

また、272店舗の新規出店を行うと共に、店舗拡大に伴い、マス・マーチャンダイジング・システムの強化として3拠点の工場及び2拠点の物流センターを新設し、積極的な業容の拡大とグループシナジーの追求による収益力の向上に取り組んでまいりました。

M&Aにつきましては、2007年3月期にグループ入りしたカタリーナ・レストラン・グループ及び株式会社サンデーサンにつきましては、業態の進化の推進を行い、収益力の強化と収益体質の改善を図ってまいりました。

更に、2007年6月にはグループの店舗、工場、本部にて取得しているISO14001「環境マネジメントシステム」(2006年6月取得)につきまして追加取得を行い、認証範囲を拡大するなど、環境に対する取り組みを強化してまいりました。

以上の結果、当第3四半期の業績は、売上高2,067億38百万円(前年同期比42.8%増)、営業利益116億52百万円(前年同期比28.0%増)、経常利益116億87百万円(前年同期比29.5%増)、四半期純利益40億49百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

事業部門別の業績は次のとおりであります。

(牛井カテゴリー)

牛井カテゴリーの当第3四半期末の店舗数は、175店舗出店、4店舗退店した結果、1,293店舗となりました。内訳は、すき家964店舗、株式会社なか卯329店舗(直営262店舗、FC67店舗)であります。

当社が経営する郊外型ファミリー牛井店の「すき家」では、引続きお客様においしくて安全な商品を安心して召し上がっていただくため、品質管理の強化とサービス水準の向上を推進し、ブランド力の向上に努めてまいりました。

商品政策といたしましては、2007年11月に「メガ牛井」を発売したことにより、カロリーを抑えたいというニーズに対応した「牛井ライト(米を使わない牛井)」から、しっかりと食べたいというニーズに対応した「メガ牛井」まで、幅広い利用動機に応えられる商品構成とし、お客様にご好評をいただいております。

株式会社なか卯が経営するうどん・丼の「なか卯」につきましては、安全でおいしい商品を通じてお客様に元気になっていただくという理念に基づき、既存商品のブラッシュアップ及び業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛井カテゴリーの当第3四半期の売上高は、703億87百万円となりました。

(ファミリーレストランカテゴリー)

ファミリーレストランカテゴリーにつきましては、株式会社サンデーサンの経営資源をジョリーパスタ業態に集中し、更なる業態の進化及び拡大による株主利益の最大化を目的として、2007年11月1日付けにて、サンデーサン事業部門を簡易分割の方法により会社分割し、同社100%子会社である株式会社CS及び株式会社BSに承継し、同日付けにて、株式会社CSの株式については株式会社ココスジャパンに対して、株式会社BSの株式については株式会社ビッグボーイジャパンに対して、それぞれ発行済株式の全てを譲渡いたしました。また、当第3四半期におきまして、サンデーサン業態からの業態転換を26店舗(ココス業態へ20店舗、ビッグボーイ業態へ6店舗)行っております。

以上を踏まえ、ファミリーレストランカテゴリーの当第3四半期末の店舗数は、63店舗出店、32店舗退店した結果、1,227店舗となりました。主な内訳は、株式会社ココスジャパン521店舗(直営442店舗、ライセンス79店舗)、株式会社ビッグボーイジャパン237店舗、カタリーナ・レストラン・グループ198店舗(直営175店舗、FC23店舗)、株式会社サンデーサン260店舗(直営258店舗、FC2店舗)であります。なお、カタリーナ・レストラン・グループにつきましては、アメリカのカリフォルニア州を中心に、ファミリーダイニングの「ココス」及び「キャローズ」を展開しております。

以上の結果、ファミリーレストランカテゴリーの当第3四半期末の売上高は、1,000億13百万円となりました。

（焼肉カテゴリ）

焼肉カテゴリの当第3四半期末の店舗数は、9店舗出店、1店舗退店した結果、99店舗となりました。内訳は、株式会社ぎゅあん67店舗、株式会社宝島32店舗であります。

以上の結果、焼肉カテゴリの当第3四半期の売上高は、87億67百万円となりました。

（ファストフードカテゴリ）

ファストフードカテゴリの当第3四半期末の店舗数は、21店舗出店、17店舗退店した結果、306店舗となりました。主な内訳は、株式会社GMフーズ120店舗、大和フーズ株式会社101店舗、株式会社日本ウェンディーズ72店舗等であります。

以上の結果、ファストフードカテゴリの当第3四半期の売上高は、172億27百万円となりました。

（その他）

株式会社カップ・クリエイトは、2007年3月に第三者割当増資の引受及び株式を取得し、前連結会計年度より持分法適用の関連会社となりました。

株式会社あきんどスシローは、2007年3月に株式を取得し、前連結会計年度より持分法適用の関連会社となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、新規出店に伴う固定資産の増加等により前期末比158億79百万円増の2,171億46百万円となりました。負債は、新規借入による長期借入金の増加等により前期末比145億10百万円増の1,721億69百万円となりました。純資産は、前期末比13億68百万円増の449億76百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は予定通り推移しており、2007年11月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (2007年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (2008年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (2007年3月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	31,983	30,349	△1,633	△5.1	29,490
2. 受取手形及び売掛金	3,417	3,536	118	3.5	2,859
3. 有価証券	3,500	—	△3,500	△100.0	—
4. たな卸資産	2,928	3,784	856	29.2	2,959
5. 繰延税金資産	294	422	127	43.4	633
6. デリバティブ債権	2,997	2,027	△970	△32.4	2,640
7. その他	6,056	5,718	△338	△5.6	5,335
8. 貸倒引当金	△96	△41	54	△56.6	△31
流動資産合計	51,082	45,798	△5,284	△10.3	43,888
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	39,398	53,217	13,819	35.1	43,987
(2) 機械装置及び運搬具	3,262	4,550	1,287	39.5	3,652
(3) 土地	5,666	8,943	3,276	57.8	9,036
(4) その他	6,134	8,103	1,969	32.1	6,454
2. 無形固定資産					
(1) のれん	14,530	17,781	3,250	22.4	17,544
(2) その他	4,441	9,039	4,597	103.5	9,335
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	682	24,417	23,735	3,479.3	24,669
(2) 差入保証金	22,319	26,885	4,565	20.5	28,387
(3) 長期前払家賃	8,737	13,683	4,946	56.6	9,627
(4) 繰延税金資産	807	1,301	494	61.2	695
(5) その他	3,653	3,441	△212	△5.8	4,019
(6) 貸倒引当金	△93	△76	17	△18.4	△100
固定資産合計	109,542	171,290	61,748	56.4	157,310
III 繰延資産					
1. 株式交付費	74	57	△17	△23.0	67
繰延資産合計	74	57	△17	△23.0	67
資産合計	160,699	217,146	56,446	35.1	201,267

科目	前年同四半期末 (2007年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (2008年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (2007年3月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	7,685	9,265	1,579	20.6	7,298
2. 短期借入金	14,278	30,400	16,121	112.9	27,644
3. 一年以内返済予定の長期 借入金	24,337	30,838	6,500	26.7	28,390
4. 一年以内償還予定の社 債	100	100	—	—	100
5. 未払法人税等	1,919	1,905	△13	△0.7	3,377
6. 賞与引当金	1,314	1,475	160	12.2	1,313
7. デリバティブ債務	—	142	142	—	48
8. 繰延税金負債	990	477	△513	△51.8	695
9. その他	10,827	14,959	4,132	38.2	13,176
流動負債合計	61,454	89,564	28,110	45.7	82,044
II 固定負債					
1. 社債	100	—	△100	△100.0	—
2. 長期借入金	54,866	75,948	21,081	38.4	68,875
3. 退職給付引当金	539	712	172	32.0	744
4. 役員退職慰労引当金	4	14	10	265.9	165
5. 繰延税金負債	667	2,832	2,164	324.3	2,932
6. その他	2,972	3,096	123	4.2	2,896
固定負債合計	59,150	82,604	23,453	39.7	75,614
負債合計	120,604	172,169	51,564	42.8	157,658

科目	前年同四半期末 (2007年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (2008年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (2007年3月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	10,089	10,089	—	—	10,089
2. 資本剰余金	10,012	10,012	—	—	10,012
3. 利益剰余金	9,656	14,600	4,944	51.2	12,136
4. 自己株式	△1,597	△1,597	△0	△0.0	△1,597
株主資本合計	28,161	33,105	4,944	17.6	30,641
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差 額金	50	△757	△807	△1,612.9	17
2. 繰延ヘッジ損益	1,783	974	△809	△45.4	1,507
3. 為替換算調整勘定	330	120	△209	△63.5	489
評価・換算差額等合計	2,163	337	△1,825	△84.4	2,015
III 少数株主持分	9,769	11,533	1,764	18.1	10,951
純資産合計	40,094	44,976	4,882	12.2	43,608
負債、純資産合計	160,699	217,146	56,446	35.1	201,267

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (2007年3月期 第3四半期)	当四半期 (2008年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (2007年3月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	144,771	206,738	61,966	42.8	204,591
II 売上原価	46,630	66,075	19,445	41.7	62,972
売上総利益	98,140	140,662	42,521	43.3	141,618
III 販売費及び一般管理費	89,040	129,010	39,969	44.9	128,667
営業利益	9,099	11,652	2,552	28.0	12,950
IV 営業外収益	1,120	2,235	1,114	99.5	1,921
V 営業外費用	1,195	2,200	1,004	84.0	1,676
経常利益	9,024	11,687	2,662	29.5	13,196
VI 特別利益	1,280	314	△966	△75.5	1,845
VII 特別損失	1,092	2,243	1,150	105.4	1,906
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	9,212	9,758	545	5.9	13,135
税金費用	4,745	4,633	△112	△2.4	5,980
少数株主利益	765	1,075	309	40.5	973
四半期 (当期) 純利益	3,701	4,049	348	9.4	6,181

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自 2007年4月1日 至 2007年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日 残高 (百万円)	10,089	10,012	12,136	△1,597	30,641
第3四半期連結会計期間中の 変動額					
剰余金の配当			△1,446		△1,446
四半期純利益			4,049		4,049
自己株式の取得				△0	△0
持分変動に伴う剰余金の減少			△139		△139
株主資本以外の項目の第3四半 期連結会計期間中の変動額(純 額)					—
第3四半期連結会計期間中の変動 額合計(百万円)	—	—	2,464	△0	2,464
2007年12月31日 残高 (百万円)	10,089	10,012	14,600	△1,597	33,105

	評価・換算差額等				少数株主持 分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日 残高 (百万円)	17	1,507	489	2,015	10,951	43,608
第3四半期連結会計期間中の 変動額						
剰余金の配当						△1,446
四半期純利益						4,049
自己株式の取得						△0
持分変動に伴う剰余金の減少						△139
株主資本以外の項目の第3四半 期連結会計期間中の変動額(純 額)	△774	△533	△368	△1,677	582	△1,095
第3四半期連結会計期間中の変動 額合計(百万円)	△774	△533	△368	△1,677	582	1,368
2007年12月31日 残高 (百万円)	△757	974	120	337	11,533	44,976

前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2006年3月31日 残高 (百万円)	3,021	2,945	7,042	△34	12,975
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	7,068	7,066			14,135
剰余金の配当 (注)			△431		△431
剰余金の配当			△593		△593
役員賞与 (注)			△61		△61
当期純利益			6,181		6,181
自己株式の取得				△1,563	△1,563
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純 額)					—
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	7,068	7,066	5,094	△1,563	17,666
2007年3月31日 残高 (百万円)	10,089	10,012	12,136	△1,597	30,641

	評価・換算差額等				少数株主持 分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	評価・換算 差額等合計		
2006年3月31日 残高 (百万円)	87	—	21	109	9,033	22,118
連結会計年度中の変動額						
新株の発行						14,135
剰余金の配当 (注)						△431
剰余金の配当						△593
役員賞与 (注)						△61
当期純利益						6,181
自己株式の取得						△1,563
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純 額)	△69	1,507	467	1,905	1,918	3,823
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	△69	1,507	467	1,905	1,918	21,490
2007年3月31日 残高 (百万円)	17	1,507	489	2,015	10,951	43,608

(注) 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。